

# や ざ わ 矢沢たかお

川崎市議会議員 矢沢たかおニュース

NEWS

Vol 02  
2015Dec. ~ 2016Feb.

宮前区から選出されました川崎市議会議員の矢沢孝雄(たかお)です。市議会で行われていることや、議員の日々の活動などを、多くのみなさまに知りたいという想いから、市政報告を定期発行させていただいております。市政報告 Vol.2 では、9月1日から10月14日までの期間で行われていた第4回定例会(決算審査特別委員会)における質問の内容及び、本議会での主な質疑と当方が所属している健康福祉委員会に付託された議案の取り扱い等について紹介させていただきます。また、みなさまの関心が高い中学校給食関連議案をはじめとする今議会で審議された事案を合わせてご報告させていただきます。

30  
才



広島市土砂災害現場視察

## かわさき市議会の決算審査って?

かわさき市議会では、前年度決算を審査する定例会を毎年9月に行っています。決算審査は、市の予算が適法に目的どおり使われたかという観点から審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するという重要な役割を担っています。

**決算審査のながれ** 58人の議員で構成されています。

### 決算審査特別委員会(全体会)

市長側から決算議案の説明が行われた後、下記5つの分科会で詳細に審査

#### 総務分科会

総合企画・財政など組織全体に関する質疑

#### 市民分科会

子育てしやすい町など質疑

#### 健康福祉分科会

児童福祉・高齢者福祉など質疑

#### まちづくり分科会

防災・放置自転車など質疑

#### 環境分科会

リサイクル・ゴミ処理など質疑

**決算審査特別委員会(全体会)** 各分科会の代表者など市長側による総括質疑を行い採決します。

## 1 介護予防事業費について



**Q** 本市における要介護認定を受けている高齢者は、平成12年度と比較し、平成24年度には2.9倍の43,600人超。介護保健給付費は、同年度期間での比較で3倍の約630億になります。要介護状態になることを防ぐ目的で平成18年度から行われてきた本市の介護予防事業(二次予防事業)について、その結果や効果などを伺いました。

**A** 二次予防事業の実施において「運動器機能向上事業」「栄養改善事業」「口腔機能向上事業」の各教室参加者に対し、事前、事後のアセスメントを行い、目標達成度の評価等を行うことによって、事業の有効性について国の指針に基づき検証を図りながら実施してきた。だが、平成24年度における国の調査によると、高齢者人口に対する二次予防事業の参加率は全国平均が0.7%となっており、本市の実績では0.5%程度で推移をしているのが現状。参加率が改善されなかつた原因は多々あるが、介護予防の継続性の問題や、費用対効果といった課題についても指摘があった。今回の介護保健制度改正を踏まえ、本市においても介護予防事業を大幅に見直し、地域における住民主体の自発的な健康づくりを支援するなど、介護予防の取組みを推進していく。(※一部抜粋要約)

## 2 介護サービス事業者への指導にかかる経費について



**Q** 本市の老人福祉施設の数は、平成27年10月時点にて2,097施設あり、そのほとんどが民間事業者により運営されています。9月に発覚し、各メディアでも取り上げられた幸区民間老人ホーム転落死亡事故に関連して、本市が行っている“介護サービス事業者への指導等(集団指導講習会)”について、今までの評価と今回の事故を踏まえ、今後の指導事業をどのように改善していくのかを伺いました。

**A** すべての事業者を対象に個別の指導や監査を行うことは困難であることから、事業者と一緒に集め、集中的に指導することにより、効果的・効率的な指導を行うことができることや、事業所ごとの理解にバラつきが少なくなること、また労働基準監督署や消防署、警察署といった専門性の高い外部講師による講座が一度に実施できるといった効果があると考えている。このことによって、健全かつ円滑に事業運営がなされ、介護サービスの質の確保、保険給付の適正化につながっているものと評価している。参加率が66%となっている現状については、不参加事業者に対して、事業所内で講習会内容の共有化を図るよう指導している。また、今まで実施していかつたが、今後の講習会では要望等を調査するためにアンケートを実施していく。今回の事故を教訓とし、事故・虐待・苦情などがあった場合の、報告書の内容の改善や職員研修の充実を図りながら、より効果的・効率的な指導及び監査の実施体制や、手法の見直しを含めて早急に検討していく。(※一部抜粋要約)

日々、どういった活動をしているの??

矢沢たかおの

太 日々の活動

2015  
9月 ▶ 11月

議会以外は何をしているの?  
活動の一部を写真で紹介します



川崎市総合防災訓練



サイバーセキュリティ勉強会



関東・東北豪雨災害募金活動



宮崎台駅頭活動



宮前区秋季ゲートボール大会



高市早苗総務大臣との懇談



寺子屋視察



障がい者ふれあいバザー



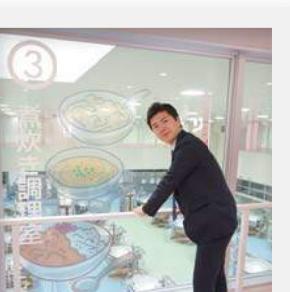
菅生神社例大祭にて



神奈川県農業支援技術センター視察



野川神明社例祭にて



福岡市給食センター視察

## 川崎 主な議会スケジュール

### 9月

- 第4回定例会(9/1~)
- 決算審査特別委員会
- 各種委員会
- 農業委員会

### 10月

- 委員会視察
- 農業委員会

### 11月

- 各種委員会
- 農業委員会

### 12月

- 第5回定例会(11/26~)
- 各種委員会
- 農業委員会

## かわさき市議会を見よう!

### インターネット議会中継

生中継のかわさき市議会を見る事が出来ます。更にライブラリーより過去の中継もみることができます。

### 川崎市議会

矢沢たかお 検索

<http://www.yazawa-t.jp>  
twitter facebook

# 第4回川崎市議会 定例会のご報告

平成27年9月1日(火)～10月14日(水)の期間にて第4回川崎市議会定例会が開催されました。今回の定例会においては「議案第140号 平成26年度川崎市一般会計歳入歳出決算認定について」を含む計38本の議案について審査が行われました。決算関連議案については決算審査特別委員会が構成されて分科会による質疑の後、各会派代表による総括質疑が行われました。「議案第132号(仮称)川崎市南部学校給食センター整備等事業の契約の締結について」は異例の長時間に亘る審議の結果、附帯決議を付した形で賛成を致しました。

## 利便性の向上と効率的な事務執行が必要

### <区役所改革について>



市民の皆様に最も身近な行政機関となる区役所は從来抱つてきた行政サービスのみならず、近年の多様化する地域課題の解決に向けて大きな期待が寄せられています。現在、府内において区役所改革の基本方針の策定作業が進んでいますが、進捗状況について質問を致しました。また、マイナンバー制度導入後、各種証明書のコンビニ交付が開始されるなど利便性の向上と業務の効率化に向けた区役所の取組について質問を致しました。また、近年は災害時における危機管理対応や地域包括ケアシステム等において地元の自治会・町内会の果たす役割が注目されていますが、行政との連携に向けた対応について質問を致しました。

## 収支不足を補う財源確保に手詰まり感

### <行財政改革について>

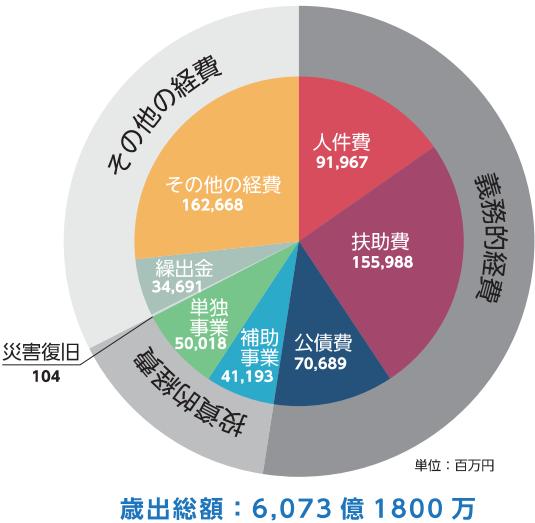
昨年8月に示された財政収支の中長期推計によれば職員数の更なる削減に経済成長を見込む最も楽観的な見通しでさえも今後10年間において1千億円以上の収支不足が見込まれています。また、過去10年間を振り返れば、数次に亘る行財政改革において多額の財政効果を生み出して参りましたが、過去の推計を見るにそこで捻出された財源は扶助費の増に相殺されてきたことが窺い知れます。これまでの行財政改革の財政効果において職員数の削減を含む人件費の圧縮が大きな比率を占めていますが、このたび公表された「行財政改革に関する計画の考え方と取組」によれば、今後においてこれまでと同程度の職員削減は困難との見通しが示されていることから収支不足を補う財源確保について計画期間内における目標効果額とその主な内容について質問を致しました。



●昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる(30歳) ●川崎市立菅生小学校卒業・川崎市立菅生中学校卒業・法政大学第二高等学校卒業・法政大学情報科学部コンピュータ科学科卒業 ●平成20年4月 伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社・平成26年7月 政治活動に専念するため同社を退社・自由民主党公認 宮前区市政政策委員・平成27年4月 川崎市議会選挙(宮前区)初当選・健康福祉委員会・農業委員会委員 ●剣道四段、空手二段、書道・毛筆三段 硬筆二段

## 公約の実現以上に財政再建にこそ責任を負うべき

### <平成26年度一般会計決算>



実質収支は1億8千万円を確保するも減債基金からの借入れは126億円に一平成26年度一般会計歳入歳出決算額は、歳入総額が6,113億1,700万円、歳出総額は6,073億800万となり、実質収支額は1億8千万円となりました。歳入面は市税の増と消費税率の引き上げによる地方消費税交付金の増、子育て世帯臨時特例給付金・臨時福祉給付金による国庫支出金の増ならびに、等々力陸上競技場、中高一貫教育校、堤根処理センターの整備に係る市債の増などが主な要因となります。また、歳出面では317億1,600万円(対前年度比5.5%)の増となりましたが、子育て世帯臨時特例給付金の給付及び保育受け入れ枠の拡大に伴う子ども費の増、臨時福祉給付金の給付による健康福祉費の増、等々力陸上競技場及び五反田川放水路の整備による建設緑政費の増、減債基金借入金償還元金の増加による諸支出金の増などが主な要因となり、市税や消費税交付金は増加したもの、臨時財政対策債が大幅に減少したことから減債基金から32億円の新規借入れを余儀なくされることになりました。結果として、扶助費は0.4ポイント増の25.1%、義務的経費比率は52.4%と財政の硬直化が進み、減債基金からの借入れ累計は126億円となるなど依然として厳しい財政運営が続いています。

### 1 今後における大規模事業の取捨選択について

本市においては今後に見込まれる大規模事業が目白押しですが、その大半が国の交付税算定の根拠となる基準財政需要額に反映されないことから後年度負担が懸念されています。不交付団体に転落した本市においては大規模事業を実施するにあたり国の基準財政需要額への反映等を斟酌した政策判断を下していくべきですが、取捨選択の指針について質問を致しました。

### 3 利払い費の負担軽減と滞納対策について

滞納を含む歳入確保対策についてはこれまでの取組が奏功して一定の効果が見られていますが、本来あるべき歳入が欠如することはその穴埋めに貴重な税金が充当される若しくは事業が抑制されることになることから看過出来るものではありません。また、公債費においては元金の償還以外に利払い負担が重くのしかかりますが、歳入確保対策におけるこれまでの成果と利払い費の負担軽減に向けた今後の対応について質問を致しました。

### 2 減債基金からの借入れ返済計画について

今後においても見込まれる減債基金からの借入れ総額の累計は5百億円を超えることが予測されることからその返済計画を示すよう再三求めて参りました。減債基金の借入れに依存せずに収支が均衡する平成31年度以降に毎年10億円ずつ返済する方針が示されているものの、その返済には多年を要することから少なくとも自らの任期中にはけじめをつけるべきであり、今後見込まれる借入れ見直しを含む返済計画の前倒しを求めました。

### 4 特別会計への繰出金と出資法人への補助金について

一般会計から他会計への繰出金については適正な支出の観点から赤字補てん的な繰出金の見直しを求めて参りましたが、平成26年度決算における支出額及び支出の適正化に向けた取組について質問を致しました。また、出資法人を含む諸団体への補助金・委託金についても大胆な見直しを求めて参りましたが、出資法人の経営改善については「出資法人の経営改善指針」が示されています。そこで、これまでの成果を含む今後の対応について質問を致しました。

## しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山1-20-12

電話 044-976-2727

FAX 044-976-8686

mail takao.y4208@gmail.com

矢沢たかお 検索  
<http://www.yazawa-t.jp/>  
[twitter](#) [facebook](#)

